

足立区立 郷土博物館だより 68

平成 27(2015)年 4月



平成27年度の展示のお知らせ



特別展 スイーツランド・あだち

—東京東部のお菓子づくり—

会期 平成27年10月20日(火)～12月6日(日)



▲広告「東京菓子名鑑」
都立中央図書館蔵



足立区にはお菓子の会社がたくさんあることを、ご存知ですか？毎日のお茶のお供に親しまれているお菓子、全国的に知られるおしゃれな洋菓



子、実はさまざまなお菓子が足立区でつくられています。

足立区は都市に近接する工業地域として発展し、その生産活動は東京の都心部の消費を支えてきました。お菓子づくりも、製造業の一つとして同じような発祥や広がりを持っています。

戦後、人々の生活が豊かになるにつれ、お菓子を楽しむ機会と文化は大きくなりました。お菓子の製造や販売、流通についても時代につれて大きく変化し、発展しています。

今回の特別展では、お菓子という身近な食べ物から、足立の地域の特徴や魅力を紹介します。「おいしさのふるさとあだち」をお楽しみ下さい。



二木の菓子 上野店内

収蔵資料展

版本の世界

— 娯楽・教養と挿絵の美 —

会期 平成27年4月28日(火)～6月21日(日)



江戸時代に木版や活版などで印刷された本を、「版本(はんぽん)」といいます。出版技術の向上により、さまざまな本が作られるようになりました。当館で所蔵する約千五百冊の版本のなかには、江戸時代のベストセラー作家の小説や、歴史書、俳書などがあります。江戸時代の人々が何を楽しみ、何を学んでいたのか…。版本の世界をご紹介します。

収蔵資料展

地口絵紙コレクション展

— 言葉遊びと笑いの精神 —

会期 平成27年7月22日(水)～9月27日(日)

「地口(じぐち)」とは、駄洒落の一種である言葉遊びのことです。地口に合わせた絵を描き、行灯に仕立てたものを「地口行灯(じぐちあんどん)」といいます。

江戸の街では、稲荷神社の初午祭で、神社の参道や氏子の家の門口に飾





- ① 吉原神社に奉納された地口行灯
- ② 「鯉の滝登り」の地口「子犬太刀のぼり」
吉田絵馬屋製作
- ③ 明治期の地口絵手本など

られました。現在では、初午だけでなく、様々な祭礼で目にすることができます。
足立区には千住四丁目の吉田絵馬屋があり、手描きの小絵馬とともに、都内でも希少となった伝統的な地口絵を伝えています。当館では、平成一七（二〇〇五）年に地口行灯の特別展を開催し、以来、各地で製作される地口の絵紙をコレクションし、現在では、二千点を越える作品を所蔵しています。
今回の展覧会では、地口行灯の誕生から、現在の地口職人の作品に至るまで幅広く紹介しながら、新たに収集した作品を公開します。

博物館からのお知らせ

展示解説ボランティア養成講座

郷土博物館では、土・日・祝日に展示解説ボランティアが活躍しています。博物館では解説ボランティア博友会と協働してボランティア養成講座を行い、新規ボランティアを募集します。ボランティアとして活動するには、養成講座の修了と博友会への入会が必要です。詳しくは、説明会にご参加下さい。参加を希望される方は、5月23日までに、博物館へ電話でお申し込み下さい。

展示解説ボランティア養成講座

日にち	午前 10 時～12 時	午後 1 時～3 時
	研修の内容	
5 月 24 日	説明会	ボランティア論
31 日	常設展示1	常設展示2
6 月 7 日	常設展示3	常設展示4
14 日	常設展示5	まとめ・説明
6 月～9 月	見学実習 2 か所	
6 月～9 月	解説実習 3 回	
9 月 26 日	修了式 定例会参加	

伊興遺跡公園で 古代人のくらしを体験しよう！

伊興遺跡公園では、古代人のくらしを体験しながら学べる、子ども向けのイベントを行います。日程が変更になる場合もあります。

◆めざせ！古代ものづくりマスタ―

前期・平成27年7月18日（土） 26日（日）
後期・平成27年8月15日（土） 23日（日）

◆あつまれ！古代キッズ（秋季）

平成27年11月14日（土）・15日（日）

◆あつまれ！古代キッズ（春季）

平成28年3月12日（土）・13日（日）

《会場》伊興遺跡公園展示館

足立区東伊興4-19-11

《問合せ》地域文化課文化財係

電話（03）388015984



▲写真は、伊興遺跡公園の展示館と復元された竪穴式住居の様子です。伊興遺跡公園でのイベントの詳細は、「あだち広報」や足立区ホームページでお知らせします。皆様のご来場をお待ちしております。

◆郷土芸能の催し

○郷土芸能鑑賞会

開催日 平成27年5月5日(火・祝)
11月3日(火・祝)
平成28年1月9日(土)
各日午前11時より
会場 郷土博物館 中庭



▲昨年度の郷土芸能鑑賞会の様子です。出演は、皿沼囃子保存会の皆さんです。鑑賞会では、足立区郷土芸能保存会の皆さんが、お囃子や獅子舞などをご披露します。

○郷土芸能大会

開催日 平成27年10月25日(日)
時間 午前10時より
会場 足立区役所 庁舎ホール
足立区郷土芸能保存会に所属する祭囃子、獅子舞、太鼓の団体が、日ごろ鍛えた技をご披露します。

資料を検索してみよう！

郷土博物館のホームページでは、博物館の所蔵資料を検索・閲覧できる「博物館資料データベース」を公開しています。

現在浮世絵や古写真、美術資料などを中心に、約二千点の資料を公開しています。データベースの資料の数は、今後順次増やしていく予定です。



▲博物館資料データベースのページは、「博物館の資料」ページからリンクしています。

公開中の各資料は、拡大して細部までご覧いただけるようになっています。ご自宅や学校での学習・研究などに、ぜひご利用ください。

博物館の映画会

郷土博物館では、毎月第2土曜日の無料公開日に、日本各地の歴史や文化財、年中行事、伝統技術に関する映画を上映します。各回午前11時より開始します。予約は不要です。当日直接博物館へお越しください。

○5月9日

「信濃大町の子供流鏑馬」(26分)

〔東日本鉄道文化財団制作〕

「狭山茶―手揉み製茶と茶の効用―」(30分)

〔入間市制作〕

○6月13日

「越中富山の売薬さん」(14分)

〔国立民族学博物館制作〕

「下中座の相模人形芝居」(31分)

〔東日本鉄道文化財団制作〕

○7月11日

「宇和島の牛鬼」(15分)

〔国立民族学博物館制作〕

「東京の市場今昔ものがたり」(23分)

〔東京都中央卸売市場製作〕

○8月8日

「五所川原の立佞武多」(26分)

〔東日本鉄道文化財団制作〕

「東京・花ものがたり」(20分)

〔東京都中央卸売市場製作〕

○9月12日

「チワン族の中秋節―中国広西チワン族自治区―」(19分)

〔二作品とも、国立民族学博物館制作〕

○10月10日

「丹波の漆かき―いまに伝わる漆かきの技術―」(28分)

〔福知山の養蚕―蚕と桑と由良川と―〕(30分)

〔二作品とも、福知山市文化遺産活用実行委員会製作〕

*上映作品は都合により変更する場合があります。

文化遺産調査・特別展 文測あらわる

会期 平成28年3月12日(土)

5月8日(日)

博物館では、「千住の琳派」や「大千住展」など、区内の美術資料を紹介する展覧会を開催してきました。区内に伝わる美術資料は、地元在住、あるいは地元ゆかりの絵師の制作で、足立の人々が直接注文し、そのまま伝えられているものが多く含まれていました。

これまでの展覧会で紹介した資料は、当時の人々がインテリアとして日常使用するものなかに、風雅を解する趣味を取り入れ、愛でていたものです。

足立区には、江戸から明治期にかけて、美術、文芸などをたしなみ、文人、墨客と盛んに交流して俳諧や絵を楽しむ「豊かな生活」があったことがうかがえます。

農業を営む旧家の主人に、自ら筆をとり絵師としての活動をした人もいました。今回の特別展では、区内江北の農家であり、谷文晁の門人であった絵師、船津文測の活動をご紹介します。



▲文測の画いた虎の図

足立区の文化遺産調査

郷土博物館では、平成22年度から、足立区の仏教遺産、生活資料、歴史画像資料の三分野を対象とした文化遺産調査を行いました。その成果は、平成24年度特別展「足立の仏像」や、報告書「千住の民俗」、そして資料検索データベースなどで公開してきました。

平成21年度のリニューアルオープン以降開催してきた美術展示により、暮らしの中で用いられてきた美術資料についての情報が、それまでよりも多く博物館へ寄せられるようになりました。これらの情報をもとに美術資料を中心とした調査を行うため、平成27年度から文化遺産調査を開始します。

美術資料は、売買され、作者と持ち主との間に直接の関係が無いことが多いのですが、区内には地域の生活に密着した資料が多く残されています。こうした資料の調査には、地元の歴

史的背景や

文化的な意

味について、

さまざまな

資料と比較

して検討す

ることが必

要です。美

術史的な分

析ももちろ

ん不可欠で、

美術の専門

研究者を交



▲区内旧家の資料調査の様子

も行います。

調査研究の成果は、今年度から博物館の展覧会などで、みなさんに公開していく予定です。俳諧や美術絵画など文雅を愉しむ豊かな人々と地域。そんな足立の新たな魅力を発信します。ぜひご期待下さい。

また調査の実施には、皆さまからの情報の提供等、ご協力をお願い申し上げます。



▲「四季農耕図」
作者の中野其豊は千住一丁目に居住していたことが判明しています。

利用案内

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、年末年始
入館料 一般200円(高校生以上)
 団体(20名以上)は半額
 70歳以上は無料
 障がい者手帳保持者およびその介護者1名は無料
 5月5日・5月18日・10月1日・11月3日は無料公開日
 第2・第3土曜日は無料公開日
 ※平成27年は5月18日(月)休館のため、
 5月17日(日)が無料公開日

交通案内

JR亀有駅北口

東武バス 八潮駅南口行・足立郷土博物館
六ツ木都住行・東淵江庭園

下車 徒歩1分
下車 徒歩4分

千代田線綾瀬駅西口

東武バス 六ツ木都住行・東淵江庭園

下車 徒歩4分

駐車場有



足立区立郷土博物館

〒120-0001 東京都足立区大谷田 5-20-1
 TEL (03) 3620-9393 FAX (03) 5697-6562